

特集

過渡期にある 保健師教育

看護大学の増設や2011年の保健師助産師看護師学校養成所指定規則（カリキュラム）の改正を受け、専門学校のほか、全員に保健師教育を行う大学、選択制の大学、専攻科1年を実施する大学、大学院修士課程など、多様な保健師教育が行われている。実習生や新人保健師を迎える臨床現場に向けて、過渡期とも言うべき現状を紹介するとともに、その状況をどのように将来の保健師教育につなげていったらよいかを考える。

- 新人を受け入れる側からみた現在の保健師教育
- 多様な保健師教育の現状と今後の方向性
- 教育側からみた保健師選択制への期待と課題
- ミニマム・リクワイアメンツを教育の指針に
- 保健師国家試験出題基準の改定のねらい